放射線生物学 No.2 原子, 分子レベルの影響と修飾要因

第57回(2012年)

- 問3 γ線による間接作用に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。
 - A 主として水の電離又は励起によって生じるフリーラジカルの作用である。
 - B 凍結状態で照射すると大きくなる。
 - C グルタチオンなど SH 基を持つ物質を添加することにより、低減することができる。
 - D 酸素分圧を低下させることで, 低減することができる。
 - (1) ACD のみ 2 ABのみ 3 BCのみ 4 Dのみ 5 ABCDすべて
- 問4 酸素効果に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。
 - Α γ線は速中性子線よりも酸素効果が小さい。
 - B 照射後に酸素分圧を高めても酸素効果はみられない。
 - C 腫瘍細胞にみられ、正常細胞ではみられない。
 - D 培養細胞だけでなく、細菌でも酸素効果がみられる。
 - 1 A & B 2 A & C 3 B & C 4 B & D 5 C & D
- 問 29 RBE に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。
 - A 基準放射線としては、一般に 200~250 kV の X 線が用いられる。
 - B 細胞致死,突然変異誘発,発がんなど指標によって値が異なる。
 - C 照射時の酸素濃度が変化してもその値は変わらない。
 - D 線量率が変化してもその値は変わらない。
 - 2 A L C 3 B L C 4 B L D 5 C L D